

3. 事業計画の進捗・達成状況

1. はじめに

学園は今後も建学の精神と伝統を継承して「十年先、二十年先に役立つ人作り」のため、常に将来を見据え時代を先取りした教育体制の構築に尽力しつつ、着実な発展を続けていくための教育研究環境の整備充実に一層の力を注いだ。

2. 大学について

基本方針

大学開学20周年（平成7年）にあたり、学園創立以来の建学の精神と伝統を受け継ぎながら、男女共同参画、生涯学習、国際化社会、障がい者や環境にやさしい社会といった時代と社会の要請に応え、大学の理念を「違いを共に生きる」と定め、この理念を具体的に実現するため「地域に根ざし、世界に開く」「役立つものと変わらないもの」「たくましさややさしさを」の三つのテーマを掲げ、男女共学体制に移行した。

その後、この理念にそって、学部、研究科の設置、改組を進めるとともに、学生の学びの質を充実するために、常にカリキュラムを検討し、教育研究体制の改善充実に努めてきた。

また、地域社会に貢献し連携をさらに図るため諸機関の附設を行ってきたところである。

2023年度も、この基本方針の下に策定した、「愛知淑徳大学ビジョン2020」及び「中期計画2020年～2024年」に基づき、学校教育法第109条第2項に規定する認証評価の結果を踏まえて、次のような事業に取り組んだ。

（1）120周年記念事業 長久手キャンパス整備計画

学校法人愛知淑徳学園が2024年度に学園創立120周年、大学開学50周年を迎えるにあたり、その周年記念事業の一環として、愛知淑徳大学長久手キャンパスの整備を引続きおこなった。

また、本学の健康系分野の教育体制とクリニックの充実を図り、地域社会との連携を強めていくことを目的として、学部・学科の改組及び学科（専攻）を新たに設置する計画に伴う関連施設等の設置工事を開始し、2023年度の完成に向けて取り組んだ。

- ・2024年度開設の「食健康科学部食創造科学科」及び「健康栄養科学研究科」関連施設を新1号棟に設置した。
- ・旧1号棟にある講義室、ゼミ室、研究室を新1号棟へ移設した。
- ・言語聴覚学専攻・視覚科学専攻旧エリアの跡地（11号棟3階・4階）を改修した。
- ・役員室、事務局、企画室を14号棟（旧アースメック棟）へ移設した。

(2) 情報活用及びデジタル活用に関する組織体制の整備

- ①大学の様々なデータを一括管理し、教学組織、事務組織の必要に応じて随時指標を提示可能な組織体制及びデジタル活用に関する対応を適宜行える組織体制を整備した。
- ②学生、保護者、取引企業等との様々なインターフェイスをより安全で効率的なものにすることで正確で安全な運用を行うことが可能になり、より最適な業務の運用を実現した。

(3) 教育研究体制の充実

中期計画を踏まえ教育研究等環境の充実のため、PublicNavi ハードウェア更新及びシステムバージョンアップ、事務パソコンのリプレイス、全学において Wi-Fi 利用ができるよう設計構築及び環境整備、Microsoft の包括契約プランの変更、CampusSquare（学務システム）の改修、実験棟新設工事設計監理業務及び土木設計施工コンサルティング業務の委託、8号棟改修計画及び学内改修技術コンサルティング業務の委託、建築学部（仮称・構想中）の施設整備に伴うローリングプラン改修、社周辺整備工事、車椅子利用学生が利用できるよう出入口扉改修工事、心理医療科学研究科院生研究室の集約に伴う改修工事、ソシオメディアラボのリプレイス、キャリアセンター及び教職・司書・学芸員教育センター移設に伴う改修工事、GHP空調機更新工事、実験動物管理室の排水溝設置他工事、図書館棟トイレ改修工事、図書館アネックス・アトリエ教室のパソコン更新、屋内温水プール嵩上げ工事、グラウンド人工芝及び全天候走路（トラック）の張り替え、新学部等の広報、車椅子用階段昇降機設置及び多目的トイレ設置工事を行った。また、クリニックでは健診部門にて使用する電子内視鏡等を購入した。

3. 中学校・高等学校について

2023年度は高等学校1学年分のタブレット端末を整備し、中学校分を含め合計5学年分に相当するタブレット端末が整備された。この機器の充実は、文科省が打ち出したGIGAスクール構想によるものであるが、これは、愛知淑徳中高の中期計画で示された、学習に取り組む意欲を高め、自ら学習する習慣・態度を身につけさせることにも大きく寄与するものである。

普通教室におけるICT環境整備については、電子黒板機能による教材提示や生徒発表のため周辺機器としてのプロジェクター整備が欠かせない。プロジェクターの交換ランプが製造中止となり、プロジェクターの更新を行う必要があり、2022年度から3年間で中学校普通教室、高等学校普通教室、特別教室を更新する計画であった。しかし、昨今の半導体不足の影響で中学校普通教室のプロジェクター更新が2022年度で完了せず、納品完了が2023年4月となった。高等学校普通教室のプロジェクター更新については、計画通りに2023年度に行った。

2023年度は、西棟4・5・6階のGHP空調機更新工事（6年計画の1年、当初5年計画であったが、工事期間の都合により6年計画に変更）を行った。中高校舎のGHP空調機は、

新校舎竣工から17年が経過し空調故障の恐れが生じているが、授業・入学試験等に与えるリスク（熱中症、試験環境の不平等）を回避するため、リニューアル工事を6年計画で行っている。